

令和3年度実証実験の概要について

1. 外壁・屋根

(1) 写真撮影

携帯端末で被害建物（サンプル）の写真を撮影して、画像を保存

(2) システム(プロトタイプ)の起動

- ① システム URL を入力
- ② ユーザ ID 及びパスワードを入力してログイン

(3) 損傷程度の自動判定

- ① 保存した画像を登録して、サーバ（AI 機能搭載）へ送信
- ② AI 判定結果を確認（サーバから判定結果を受信）
 - ・ 損傷個所の赤枠の表示
 - ・ 損傷程度ごとの数
 - ・ 損傷程度の損傷例示の表示

(4) 面積率算出用補助線の確認

- ① AI 判定後の画像に、面積率算出用補助線を表示
- ② 損傷程度ごとの面積率及び外壁の損傷率を算出

2. 基礎

(1) 基礎の全体の長さ、損傷基礎長等の長さの自動計測

被害建物（サンプル）に対して、AR（拡張現実）技術を使用した公開されているソフトウェアのアプリケーションを活用して自動計測

(2) 損傷率の算出

システム（プロトタイプ）に、自動計測した長さを入力して損傷率を自動算出